

Title	企業グループのパターンと経営情報
Sub Title	
Author	一文字守(Ichimonji, Mamoru) 高木晴夫
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1992
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1992年度経営学 第895号 複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001992-0895">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001992-0895</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名

一文字 守

主査 高木 晴夫

副査 伏見多美雄

森川 英正

所属

高木 晴夫 研究室

## 企業グループのパターンと経営情報

今日、新聞・雑誌等で、「企業グループ」のあり方や「グループ経営」の重要性を主張する記事を目にすることが多くなった。また一般に、重要な経営資源は、「ヒト」「モノ」「カネ」「情報」といわれている。そのような中、ディスクロージャー制度の進展により、「企業グループ」内の「モノ」や「カネ」の流れ方は明らかにされようとしているのに対して、「情報」に関しては、その重要性に関する議論はなされているものの、「企業グループ」内をどのような情報が、どのように流れているのかは分かっていない。そこで筆者は、経営一般に関する情報を「経営情報」と名づけ、「企業グループ」における「経営情報」の流通を明らかにすべく研究に取り組んだ。

実際の調査は、「企業グループ」を有している親会社の関係会社管理部門を対象にインタビュー調査で行われたが、調査結果を分析していく過程で、筆者は、今までにない「企業グループ」のパターン分けが可能であることを発見した。すなわちそれは、「企業グループ」が、グループ全体の経営方針として何を志向しているかという観点からのパターン分けである。

さらに、「経営情報」についても、そのパターンによって「経営情報」の扱い方に違いがあることが分かった。グループとして志向している方向性が違えば、必要とされる「経営情報」の種類も違ってくるし、その流通方法も違ってくるのである。